

(概要版)

適応指導教室の運営とその実践

—適応指導教室での実践と連携による子供たちへの支援—

実践発表の趣旨

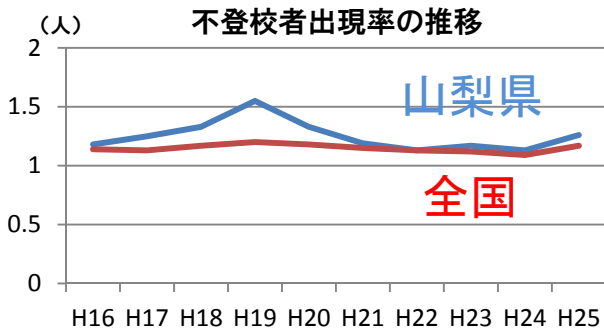
不登校の要因・背景

多様化・複雑化

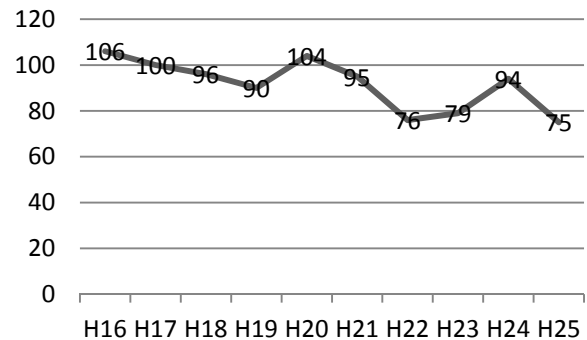
相談支援部こすもす教室

こすもす教室での
多様な取組の必要性

不登校



こすもす教室在籍者状況の推移



居場所としてのこすもす教室

1, 職員

- ・石和こすもす教室 主幹1名 指導員3名
- ・韮崎こすもす教室 主幹1名 指導員3名
- ・都留こすもす教室 主幹1名 指導員2名

2, 対象児童生徒

小学校5・6年生・中学校1年生～3年生

3, 定員

- ・石和こすもす教室 30名
- ・韮崎こすもす教室 30名
- ・都留こすもす教室 20名

4, 入室手続き

- ・見学相談→入室面談→仮入室
- 正式入室

※仮入室期間は2週間程度

こすもす教室の運営

	月	火	水	木	金
9:00～	おはようタイム				
9:30～10:00	朝の会・スケジュール表への記入				
10:00～10:50	学習タイム(自学)				
10:50～11:05	休み				
11:05～11:55	学習タイム(自学)				
11:55～12:40	昼食				
12:40～13:00	昼休み				
13:00～13:30	読書タイム				
13:30～15:30	こすもすタイム スポーツ・ゲームなど「みんなとふれあう」 趣味を広げ、特技をのぼす。読書をする。 新しいことにチャレンジする。				
15:30～16:00	1日の振り返り・帰宅				

こすもす教室の指導

自尊感情の高まり



役割

克己



関わる



自立心の高まり

自分で決める

自学自習

自分で決めて
行動する



キャリア発達

自分自身の夢や希望の広がり



高校見学



大学見学



職業講話



職業体験

基礎学力

再登校へ

体験活動

創作教室



ふれあい体験活動



合同キャンプ



再登校への活力

学習の遅れ

指導員の分析
きめ細かな指導
学力の向上
テストのための登校
テスト結果の向上

連携



指導員間の連携

効果的な指導
児童生徒の実態把握
指導員の資質向上
在籍校への情報提供

在籍校との連携

在籍校中心の対応
早期の再登校へ

関係機関との連携

児童相談所の訪問
各市町村の福祉課の
関わりを作る
SSW・SCの訪問等

山梨県総合教育
センターとの連携

研修主事の教室訪問
(スーパーバイス)
センターの面談から
こすもす教室の通室へ

複雑化・多様化した
不登校への対応



再登校へ

その他の連携

各市町村相談室
各市町村適応指導教室
県外施設見学

成果と課題

○複雑化・多様化した不登校に対応するには、どのような方向性を探っていくのか。